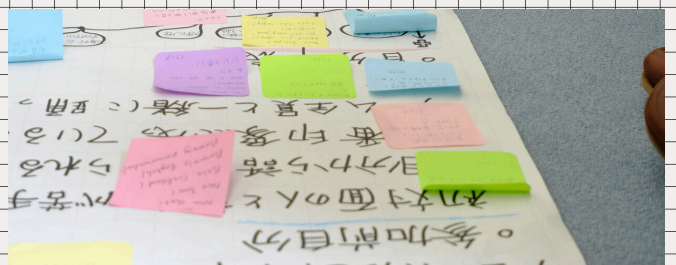


令和7年度 直鞍地域未来の地域リーダー 育成プログラム 「ちよっくらJr. グローバルキャンプ」

活動報告書



01 ちょっくらJr.グローバルキャンプとは

直轄地域在住の中学生が、地域への愛着と誇りを深めるとともに、視野を広げ世界に羽ばたくための一歩を踏み出すことができる人財を育成するためのプログラム。
グローバルな視点を持った豊かな人間性、社会性、自発性等の生きる力を育むとともに、異文化について理解を深め、多様な価値観に興味を持つようになることを目指します。

主催

直轄地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会（直方市、直方市教育委員会、宮若市、宮若市教育委員会、小竹町、小竹町教育委員会、鞍手町、鞍手町教育委員会、福岡県）、株式会社7世代先へ

後援

福岡県教育委員会

開催日程と会場

2025年9月13日（土）～15日（月・祝） 2泊3日
福岡県立少年自然の家「玄海の家」（福岡県宗像市神湊1276）

参加状況

募集対象：直轄地域在住の中学生
参加者：21名
参加費：無料

活動報告動画

本編

ショート版



02 コーディネーター・学生サポーター・講師紹介

コーディネーター



株式会社7世代先へ 代表 日高 将博（ひたか まさひろ）

福岡県田川郡福智町出身。英国バーミンガム大学修士、商社に就職後、中国山奥のハンセン病隔離村で活動。日本財団国際事業部で、アフリカ、南米、インド等の首脳らとハンセン病支援を実施。株式会社7世代先へで、県や地方自治体、企業向けの研修講師およびコーディネーターも行っている傍ら、放置竹林を活用したキャンプ場「7世代キャンプ」の経営や、「筑豊経済新聞」の編集長も務める。

スタッフ・学生・留学生サポーター

立命館アジア太平洋大学（以下APU）の大学生・留学生がサポーターとして1グループに1人付き、中学生と一緒にワークショップや企画を進めていきました。



スタッフ

大里みずき



留学生

ミャンマー
KYAL SIN PHYU氏



留学生

バングラデシュ
Nibras氏



留学生

フィリピン
Leira氏



留学生

ウクライナ
Diyorbek氏



留学生

台湾
CHEN YU CHI氏



留学生

アラブ首長国連邦
Jannatul氏



大学生

中川実優氏

講師：APU4回生 中川実優氏



学生団体Sunnyを立ち上げ、代表として小学生向け国際交流イベントを実施。高校生向け探求ブートキャンプの代表も務める。観光社会学のゼミにて、子どもの体験機会の減少と地域のあり方について研究中。

講師：鞍手高校教諭 長嶋 優依氏



福岡県立鞍手高等学校に英語教員として勤務。JICA青年海外協力隊として令和4年7月から令和6年3月までヨルダンに派遣。シリア難民キャンプで教育支援に取り組む。

世界で活躍するリーダーになるために必要なことは数え切れないほどありますが、今回のプログラムでは3つの軸「自己理解」「国際交流」「自己管理」を重視してプログラムを構築しました。



上記の3つの軸、それぞれに該当するプログラムを企画しました。
下記に行った活動についてまとめました。

1 自己理解

自分の価値観、自分の住む町について理解を深める

- **自分年表作成** ※これまでの自分のモチベーションを印象深い出来事と一緒に年表に書き出す事前課題
- **自分が住む町を誇りに**
- **世界に飛び出した大学生の講義**
- **価値観発見ワークショップ**

2 国際交流

世界に興味を持つきっかけとなる国際交流

- **世界の課題を考えるワークショップ**
- **世界のお祭りをつくるプログラム**
- **ヨルダンで教育支援を行った高校教諭の講義**

3 自己管理

目標構築と達成するための行動計画を立てること

- **個人目標と行動目標の設定**
- **自己評価**
- **未来年表作成** ※自分の将来を想像して年表にするワークショップ
- **個人発表**

DAY1



アイスブレイク

一緒に過ごす仲間、チーム、留学生と打ち解け、お互いの顔と名前を一致させる大切なスタートの時間。「研修後にどうなっていたいか」という個人目標の設定も行った。



講師：中川 実優 氏

中学生に海外を身近に感じてもらうため、かつて英語が苦手と感じていた1人の子どもの話をお話いただいた。海外に興味を持ち、国際的な環境を志した経緯を対話をしながら講義された。



ワーク：自分の軸のを見つけ方

過去の経験を書き出し可視化することにより、今までの自分の経験とそれによって得られた学び、大事にしている価値観を客観的に捉え、自分の将来像を考えるきっかけとなるワーク。

DAY2



ワーク：世界の課題を解決する

6か国の「環境問題」「教育格差」を英語で議論。海外の問題は遠い存在ではなく、自分の社会の延長であるということを実感し、グローバルな視点を養い、1人1人が「自分の立場で何ができるか」を考えるワーク。



講義：長嶋 優依氏

中東の「ヨルダン」で青年海外協力隊として過ごした経験を共有。異文化の面白さや、世界の同年代の現状、シリア難民問題などについてワークを交えてお話しいただいた。

DAY2



将来の「自分年表」作成ワーク

自分が大切にしたいこと、どんな生き方をしたいかを深掘り、将来の自分年表を作成した。作成したものをチームで共有し、夢を互いに応援し合った。



世界のお祭り

世界のお祭りを準備・運営するワーク。中学生と留学生が協働し6か国の出し物を練習。準備過程で「仲間と共に成長」し「チームの結束を高め」、「殻を破り挑戦する成功体験」と「異文化を肌で理解する体験」を積んだ。

DAY3



発表

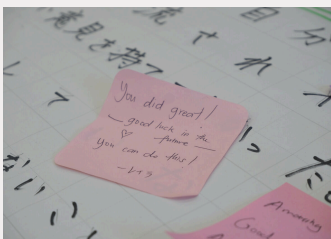
中学生は、自身で英語と日本語のいずれかを選択し、個人発表を行った。発表内容は、以下のとおり。

①自分の「過去、現在、参加後どう変わったか」「苦手を克服できたこと、得意を伸ばせたこと」「出身の市町の見方がどう変わったか」

②「将来の自分年表」

チームメンバーの助けを借りながら内容を考え、発表の練習を留学生やスタッフがサポート。

本番は、チームごとにステージに出て1人ずつ模造紙を用いて発表。発表を聞いた参加者は、付箋に発表の良かった点や発表者に対する励ましのメッセージを書き込み、模造紙に次々と貼り付け、会場全体で発表者のこれからの挑戦を応援し合った。



06 アンケートの結果と参加者の声

参加の声 ～今後どんな行動をしていきたいか？～

- ・ ミスを恐れず積極的に発表する。
- ・ 研修で学んだ英語を家族や友達と話すときに使ってみる。
- ・ 自分に自信を持つ。周りの目を気にしない。
- ・ 英語の勉強にもっと力をいれていきたい。
- ・ 直方の文化や良いところを沢山見つける。
- ・ 世界中の問題について知り、考える。
- ・ mistake OKを思い出してチャレンジする。
- ・ 勇気があればなんでもできる！の考えで動く。
- ・ できるようになったこと（苦手なこと含む）を学校でもする。
- ・ 苦手なことを日常生活から、今回みたいにできるように頑張る。
- ・ 初めての人にも「Let's communicate」を大切に明るくする。

参加の声 ～参加後の感想～

- ・ すごく良い経験になり、成長することばかりだった。
留学生のみなさんと話せて楽しかった。
- ・ 自分に自信を持つことができ、色んなことを積極的に進んで取り組めた。
- ・ 自分からしゃべりかけられないことがなくなり、楽しかった。
- ・ 色んな人とコミュニケーションをとり成長できた。

アンケートの結果

アンケートは、開講式と閉講式の後に、同じ質問にそれぞれ答えてもらい、その差を分析しました。

	愛される力	セルフ イメージ	コミュニ ケーション	目標達成	考える力	合計
初日	3.43	2.83	3.01	2.92	2.75	59.79
最終日	3.84	3.33	3.59	3.61	3.54	71.63
差分	0.41	0.5	0.58	0.69	0.79	11.84

総合計の平均点を見ると、初日平均が59.79点であったのに対し、最終日平均は71.63点と、約11.84点の大幅な増加が見られました。これは、キャンプ全体を通して参加者の自己認識が肯定的な方向に変化し、様々なスキルや意識が向上したことを明確に示しています。特に「目標達成」と「考える力」が向上しました。前者はプログラムの初日に個人目標設定ワークを行い、最終日に自分自身の変化について発表したことで自信がついたものと考えられます。後者は、「お祭り企画」と「課題解決ワーク」を通して向上したものだと考えられます。

令和7年度 ちよつくらJr. グローバルキャンプ

主催：直轄地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会



直轄地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

直方市、直方市教育委員会、宮若市、宮若市教育委員会
小竹町、小竹町教育委員会、鞍手町、鞍手町教育委員会、福岡県

問合せ先

直轄地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会事務局
(県庁青少年育成課内)

住所：〒812-8577福岡市博多区東公園7番7号

TEL：092-643-3402（平日9:00～17:00）

Mail：ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp

